

# 南三陸の海の再生写す

写真家・佐藤さん 仙台市科学館で展示



家族連れでにぎわう写真展「南三陸 海の生きものたち」(26日、仙台市青葉区で)

東日本大震災で被害を受けた南三陸の海の生物の再生に迫る写真展「南三陸海の生きものたち」が、仙

台市科学館(仙台市青葉区)で開かれている。

撮影したのは南三陸町出身の水中写真家・佐藤長明さん(51)。

会場には、海藻が流出し泥だけが残った震災直後の海底の様子から、コンブの群生の復活、岩肌を赤く染める天然のホヤなど、現在の海の様子までを収めた写真20点が並んでいる。

祖母と訪れた仙台市若

林区の小学3年生工藤晃成君(8)は「震災でひどくなつた海がきれいな海に戻って良かった」と話していた。同写真展は入場無料。8月30日まで。同館では新型コロナウイルスの感染予防として他の一部企画を中止している。問い合わせは、仙台市科学館(022・276・2201)。